

キャラクター名 朝武 愛乃	プレイヤー名
------------------	--------

シンドローム	ブラム=ストーカー キュマイラ		ワークス	高校生	カヴァー	
	オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	28	%
出自	名家の生まれ	経験	喪失	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	4		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
禍つ刺	白兵	5r+4	5	33		対象の攻撃力-10 武器最大値作成時
禍つ刺	80%	白兵	5r+4	5	38	対象の攻撃力-12 武器最大値作成時
禍つ刺	100%	白兵	5r+4	5	43	対象の攻撃力-14 武器最大値作成時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
起源種 - オリジナルネグイト	P	N			
壬生千咲	P 友情	N 劣等感			
母親	P 尊敬	N 悔悟			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	2	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
赫き剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: レベル*2点までのHPを任意に消費する。攻撃消費したHP+8 命中0 ガード値0 射程至近 を作る。								
破壊の血	5	2	マイナー	至近	自身	自動	リミット	
効果: 赫き剣と組み合わせて使用する。作成する武器の攻撃力に+「Lv*3」ガード値+5 ただし2点のHPを消費する。								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動を行う。この移動では離脱を行える。ほかのエンゲージに接触しても移動を終える必要はない。1シーンLv回制限。								
コンセントレイト: キュマイラ	1	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: クリティカル値-Lv 下限値7								
深き傷跡	5	2	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: このエフェクトを組み合わせた攻撃で1点でもダメージを与えた場合、対象の次に行う攻撃の攻撃力-「Lv*2」シーンが終了するか対象が攻撃するまで持続する。								
殺意の壁	3	2	オート	至近	単体	自動	-	
効果: 対象が攻撃を行ったときに宣言する。そのメインプロセスの間対象の行う攻撃の攻撃力-「Lv*3」する。」								
魔獣の治癒力	1	6	オート	至近	自身	自動	-	
効果: なんらかの手段でHPを回復したとき宣言。LvD分点追加で回復する。1シーン1回制限								
異形の痕	★	-	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 体の一部が異形に変化する。外見を隠していてもこのエフェクトを使用することで知るのが見ればあなたと判別することができる。								
鋭敏感覚	★	-	メジャー	-	-	自動	-	
効果: 犬の嗅覚や鳥の長距離視力などを得る。GMは必要と感じたなら「知覚」による判定を行わせてもよい。								
かしずく歯車	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 精密な作業を行えるようになる。GMは必要と感じたなら適切と思われる技能で判定を行わせてもよい。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

代々町の重役となる神社の一人娘。
自身の家にあった問題を解決したのち父親に少し世界をみたくていいと背中を押され、学園へと進学を決めた。
登録能力は「身体制御」
いままでそのような境遇だったため友達と呼べるものがろくにおらず「普通」や「友達付き合い」というものに憧れを抱いていた。
同じクラスメイトになった千咲や七海にはそんな自分と仲良くしてもらって感謝している。
自身にオーヴァードの力があることは知っているが他にそのような能力者がいるとは考えていないため学園では本当の力は隠して生活している。